

令和 6 年度市政執行方針に基づく主要施策 (ふるさと芦別の今と未来のまちづくりのための重点八策)

1 市民の安全・安心な暮らしと環境づくりの推進

(1) 防災対策の推進

- 防災訓練や防災講話などによる防災意識の向上と自主防災組織の設立促進
- 防災用資材等の備蓄の継続
- 一人では避難が困難な方の個別避難計画の作成推進

(2) 夏季の暑さ対策

- 小中学校やコミュニティセンター等へのエアコンの設置

(3) 市総合庁舎の整備

- 浄水場の整備完了後に改めて検討を行うため、一旦先送り

(4) 一般国道 4 5 2 号の整備促進

- 未開通区間の早期開通に向けての要望活動の強化
- 三段滝公園周辺の駐車場やトイレ等の休憩施設整備に向けての要望活動の継続
- 星の降る里大橋から芦別温泉スターライトホテルまでの区間における道路整備（車道及び橋りょうの拡幅）に向けての要望活動の継続

(5) 墓地及び火葬場の運営管理

- 桜ヶ丘霊園（急斜面箇所）への手すり設置
- 芦別市斎場を使用できず、やむを得ず市外火葬場を使用した市民に対する使用料の全額助成

(6) 空き家対策の推進

- 空き家の維持管理の必要性や活用方法及び解体助成※に関する、ホームページや広報による周知の徹底
- ※解体工事費用の 5 分の 1 に相当する額（上限額 3 0 万円）

(7) 公営住宅の整備

- 住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づく公営住宅の維持管理、計画修繕、ことぶき団地建替及び集約※等の推進
- ※既存の 1 5 棟 1 0 8 戸を順次解体しながら、7 棟 6 8 戸を建設。
(令和 6 年度は 1 棟 1 2 戸を建設)

(8) 地域公共交通対策

- J R 根室線の維持・存続に向けての取組の推進
- バス路線※の維持・確保
- ※高速バス（高速ふらの号）、地域間バス（滝芦線）、路線バス（キラキラバス）
- 芦別・新城線の実証実験運行（令和 3 年 1 0 月から令和 6 年 9 月までの 3 年間）終了に伴う令和 6 年 1 0 月からの新たな運行方針の決定

(9) 脱炭素化に関する取組の推進

- 人為的な温室効果ガス排出量抑制を目的とした「ゼロカーボン実行計画（区域施策編）」の策定
- 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく公共施設から排出される二酸化炭素削減のためのLED照明など省エネ設備への更新

(10) まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

- 本市における人口減少抑制と地域活性化を目的とする第2期総合戦略の令和6年度終了に伴う次期（第3期）総合戦略の策定

(11) 水道事業の推進

- 浄水場更新基本計画に基づく芦別浄水場実施設計及び測量調査業務の着手（新浄水場の供用開始は令和11年度を予定）
- 令和7年度からの水道料金改定に向けての検討（詳細は別紙資料のとおり）

(12) 病院事業の推進

- 安全・安心な医療の確保と提供
- 医師及び看護師の確保に向けての取組の強化

(13) 予防接種の推進

- 新型コロナワクチンの定期接種及び帯状疱疹ワクチン接種費用の一部助成に向けての検討（本年度内の制度化を予定）

(14) 消防活動の強化

- 消防車両をはじめとする消防防災施設等の計画的な整備・更新
- 市民の救命率向上のための応急手当講習等の実施

2 子育て支援策と高齢者等保健福祉の充実

(1) 子育て支援の充実

- 母子健康手帳アプリ「母子モ」によるオンライン予約サービスの導入
- 妊婦一般健康診査、市外産科医療機関への通院に係る交通費の一部助成（産婦健康診査に係る交通費を助成対象に追加）
- 妊娠届出や出生届出を行った妊婦等への給付金支給による経済的支援
- 市独自に追加する8回分の超音波検査や2回分の産婦健康診査に対する公費負担の実施

(2) 子ども・子育て支援の推進

- 総合的な子育て支援の充実を図るための「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定

(3) 生活習慣病及びがん予防対策の推進

- 全てのがん検診の無料実施
- 特定健康診査の受診率向上に向けての取組の実施
- がん検診精密検査や検診事後指導等の情報伝達手段として、携帯電話のショートメッセージサービスの導入

(4) 国民健康保険事業の推進

- 出産被保険者に係る産前産後期間の国民健康保険税の所得割及び被保険者均等割の減額
- 18歳以下の被保険者に係る国民健康保険税の被保険者均等割の減免

(5) 介護保険事業の充実

- 要介護・要支援を受けている方々の多様なニーズに対応した地域支援事業の実施

(6) 高齢者保健福祉の充実

- 高齢者が在宅で安心して暮らすことができるための取組の実施
 - ・ 門口除雪サービス事業、緊急通報装置設置事業などの継続
- 高齢者が住み慣れた地域で、地域住民との関わりを持ちながら暮らしていくことができるための取組の実施
 - ・ 生活支援おもいやりサポーター事業の推進
- 介護人材確保及び人材不足解消のための支援
 - ・ 介護職員初任者研修、介護に関する入門的研修など

3 新たな産業の創出と農林業等地場産業の振興

(1) 農業経営基盤の強化

- 国や市の制度資金による、担い手に対する農業経営基盤強化の支援

(2) 特産品開発等の支援

- 山田錦等を使用した「どぶろく」の製造など、新たな産業の創出に資する生産者団体等の事業に対する支援

(3) スマート農業の推進

- スマート農業推進協議会が行う先進技術の実証事業及び先進地への視察研修等への取組に対する支援

(4) 農業担い手対策の推進

- 国の制度や農業担い手育成条例に基づく、農業担い手の確保・育成に向けての施策の展開

(5) 林業振興対策の推進

- 国及び北海道の補助制度を活用した一般民有林の整備保全の実施
- 木質バイオマスの利活用及び木質チップ燃料製造事業者の育成の推進
- 関係機関・団体との連携による担い手の確保・育成
 - ・北海道立北の森づくり専門学院の各種実習、インターンシップや林業体験ツアーの受入れ、幅広い世代に対する木育活動など
- スマート林業の推進に向けて、北海道が実施する実証事業への参画

(6) 有害鳥獣対策の推進

- エゾシカ及びアライグマによる農林業被害防止対策の実施
- ヒグマによる被害防止を図るための機器の導入
 - ・忌避装置、監視用トレイルカメラ

4 商工業の振興による経済の活性化

(1) 商工業の振興

- 企業振興奨励金※1や企業振興事業補助金※2の交付による中小企業の支援

※1 生産性の向上に資する設備投資や事業展開に対する支援
(最大交付率50パーセント、上限額1億円)

【令和4年度実績】 交付件数12件 補助金額68,034,000円

- ※2 ・起業支援や新製品開発等の取組に対する支援
 - ・空き地又は空き店舗活用事業、店舗リニューアル事業の改修等に対する支援
(改修事業に要する経費の要件が100万円から50万円に引き下げられました。)

【令和4年度実績】 交付件数2件 補助金額342,000円

<内訳>空き地又は空き店舗活用事業 (家賃補助/140,000円)
販路拡大促進事業 (展示会への参加旅費/202,000円)

- 事業承継の支援制度の検討

(2) 企業誘致の推進

- 企業訪問や面談に加え、オンライン環境を活用した企業誘致活動の実施と企業立地を積極的に検討している企業の招へい

(3) 雇用・労働環境の充実

- 求人情報サイト「芦別しごとナビ」による円滑な人材確保の推進
- 市内企業との連携による、ふるさと就職奨励金制度※の積極的なPR
- ※①新規学卒者やU・Iターン者が芦別市内に居住し、市内事業所へ常用労働者として就職した場合に、就職後5年に分けて、1年を経過するごとに10万円分ずつ、合計50万円分の地域限定商品券を交付。
(芦別高校新規学卒者については、20万円分ずつ5年間・最大100万円分を交付。)
- ②ふるさと就職奨励金交付対象者のうち、奨学金の返済を行っている方に対し、就職日現在の未償還額の2分の1以内、年額24万円(月額ベース2万円)を上限として、5年間で最大120万円を交付。

【令和4年度実績】 交付件数33件 交付金額2,230,000円

(4) 地元企業への就職促進支援

- 芦別商工会議所との連携による、高校生を対象とした市内企業の合同説明会や見学会の実施
- 札幌圏の大学生を対象とした市内企業のインターンシップの実施

5 移住・定住対策の推進

(1) 定住促進事業の推進

- 新築住宅※1及び中古住宅※2を取得する方に対する奨励金の交付
 - ※1 1戸につき50万円。ただし、特定空家等及び特定空家等に準ずる空家等を除却した後に新たに住宅を建築した場合は300万円。(加算措置有)
 - ※2 1戸につき土地及び建物の取得に要した費用の2分の1以内の額。(上限100万円。ただし、移住者の場合は上限200万円。)(加算措置有)
- 市外から賃貸住宅に移り住む方に対する家賃の助成
(月額上限3万円を地域限定商品券により交付。助成期間は60か月。)

(2) 移住者誘致促進事業の推進

- 地域おこし協力隊の新たな隊員(フリーミッション部門、林業部門など)の募集
 - ※現時点における本市の地域おこし協力隊員は4名
 - <内訳>令和4年度からの継続隊員(フリーミッション部門2名)
 - 令和6年6月からの新規隊員(陶芸センター指導員1名)
 - 令和6年6月からの新規隊員(フリーミッション部門1名)
 - 今後、増員に向けて新たな隊員を募集する。
- 首都圏等における移住相談事業への出展

(3) 地域と多様に関わる関係人口の取組

- 「星の降る里あしべつ応援大使」※1による本市のPRやまちづくりへの協力
- 「星の降る里あしべつ応援団」※2増員に向けての取組の実施
 - ※1 これまでの委嘱者は9名。
(第2期芦別市総合戦略における令和6年度までの目標人数は10名)
 - ※2 現在の登録者は40名。
(第2期芦別市総合戦略における令和6年度までの目標登録者数は50名)

6 観光・合宿事業の推進とスポーツの振興

(1) 観光地域づくりの推進

- 本市の地域資源である星や雲海などの自然、豊かな食、日本遺産「炭鉄港」などの魅力を活かした観光地づくりの推進
- ワーケーションの誘致に向けてのプロモーション動画の制作と活用

(2) 魅力ある観光イベントの推進

- 健夏まつりやキラキラ☆フェスタあしべつ、あしべつスター☆マラニックなどの集客イベントの開催支援
- 民間事業者が開催するイベント等に対するPRなどの側面支援

(3) 観光施設の整備

- 滝里湖オートキャンプ場利用申込予約システム（24時間稼働）の導入
- 道の駅敷地内のWi-Fi環境整備及びドッグランの新設
- スターライトホテル館内全体及び油谷体育館ロビーまでをカバーするWi-Fi環境の整備

(4) 合宿の里事業の推進

- なまこ山総合運動公園等の体育施設、宿泊交流センターをはじめとした市内宿泊施設を活用した合宿誘致の推進

(5) スポーツの振興

- スポーツ推進委員などと連携した各種スポーツ教室の充実
- 全国47都道府県で実施されている「全国少年少女野球教室」（日本プロ野球OBクラブ主催／小中学生対象）の本市での開催
※令和6年5月19日（日）芦別市民球場で開催

(6) 健康都市宣言等事業の推進

- 昨年度から実施している健康づくりウォーキング事業「#（ハッシュタグ）芦ジム」のアプリ化及びインセンティブの付与による運動意欲の向上と運動習慣の定着への取組の実施

7 教育環境の充実、高校・高等教育機関への支援策と文化の振興

(1) 教育環境の充実

- 市単独で実施する統一学力検査や全国学力・学習状況調査などの結果分析の活用による学習指導の評価・改善
- 算数・漢字検定受検料に係る助成対象の拡充（小学3年生以上を小学1・2年生まで拡充）

(2) 学校給食の無償化

- 小学生（令和5年度より実施）に加え、令和6年度からは中学生においても無償化を実施

(3) 高校・高等教育機関への支援

- 高校（道立の芦別高校、私立の星槎高校）及び高等教育機関（専門学校北日本自動車大学校、星槎大学）の入学生確保に向けた各種助成事業等の継続
- 芦別高校の募集定員の普通科・2間口維持に向けた取組の実施

8 たゆまぬ行財政改革と新たな時代に対応する行政のデジタル化の推進

(1) 行財政改革の推進

- 行財政運営と改革の基本方針に掲げる基本目標の達成に向けての取組の推進
 - ・身の丈にあった自立した財政構造の構築
 - ・安定した財政運営と最少の経費で最大限のサービス効果の創出
 - ・時代に即した質の高い行政サービスの充実や未来への投資に係る対応

(2) 行政のデジタル化の推進

- マイナンバーカードを活用した「書かない窓口」の実施に向けての検討
- 住民票、印鑑登録証明書などのコンビニ交付の実施
- 市の行政情報を発信するデジタルサイネージの導入
(導入施設：市民会館・青年センター、図書館、総合体育館)
- 公共施設利用に係る予約システムの導入
(導入施設：総合福祉センター、市民会館・青年センター、総合体育館、勤労者体育センター)

(3) ふるさと納税の推進

- 新たな寄附者の開拓に向けての取組の実施
 - ・本市にある「ヒト」、「モノ」、「コト」といった地域資源の組合せによる返礼品の発掘
- ※寄附者に対する本市の返礼品数は200品目以上。(米、乳製品、肉、野菜・果物など)
- ・近隣自治体との連携による共通返礼品の開発
- ※令和5年度、赤平市との連携による共通返礼品として、「炭鉄港お菓子セット」及び木製置き時計と書類トレーなどを組み合わせた「ものづくりセット」のほか、富良野市との連携による共通返礼品(空知川ラベンダーの森ゴルフコース・1ラウンドプレー券)を開発し、令和6年度においても新たな共通返礼品を開発する予定

【令和4年度実績】寄附件数24,823件 寄附金額280,704,370円

(4) 企業版ふるさと納税の推進

- 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業※の財源確保に向けての取組の実施
 - ・市ホームページでの周知
 - ・民間企業の支援サービス活用による企業等へのPR
- ※総合戦略に掲げる次の①～④のすべての事業が寄附の対象
- ①「星の降る里・芦別」に安定した雇用を創出する事業
(農業振興事業、林業振興事業など)
- ②「星の降る里・芦別」への新しい人の流れをつくる事業
(観光による交流拡大事業、U・Iターン促進事業など)
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
(結婚・出産・子育て支援事業、教育振興事業)
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業(緊急通報システム事業、門口除雪事業など)

【令和4年度実績】寄附件数17件 寄附金額8,100,000円

芦別市の人口に関する統計データ

■人口動態（ある一定の期間における人口の変動）

（単位：人）

年度	人口	①自然動態			②社会動態				合計 (①+②)
		A 出生	B 死亡	増減 (A-B)	a 転入	b 転出	c その他	増減 (a-b+c)	
令和5年	11,404	30	323	△ 293	315	411	3	△ 93	△ 386
令和4年	11,790	38	326	△ 288	292	448	3	△ 153	△ 441
令和3年	12,231	36	310	△ 274	288	388	2	△ 98	△ 372
令和2年	12,603	42	280	△ 238	265	428	2	△ 161	△ 399
令和元年	13,002	51	250	△ 199	312	529	5	△ 212	△ 411
平成26年	15,208	67	290	△ 223	360	595	△ 2	△ 237	△ 460
平成21年	17,211	73	283	△ 210	405	593	△ 1	△ 189	△ 399
平成16年	19,502	102	231	△ 129	611	774	5	△ 158	△ 287

※人口は3月31日現在（各年度共通）

※各年度における自然動態及び社会動態の対象期間は4月1日から3月31日まで

■人口推計（5年ごとに行われる国勢調査の人口を基礎として算出したもの）

国立社会保障・人口問題研究所（令和5年12月公表値）

（単位：人）

年次	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年
人口	10,671	9,137	7,730	6,483	5,414	4,498